

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2015年2月24日

北海道社会保障推進協議会

Tel:011-758-2648

FAX:758-4666



安倍政権が、消費税増税や社会保障大改悪など国民いじめの暴走政治を進めています。これに反撃するため、消費税廃止各界連や高齢期運動連絡会、社保協が共同して、「いのちとくらしを守れ！2.21 総決起集会」を行いました（およそ200人が参加）。各分野の実態や改悪の内容、たたかいについて交流し合い、共同したたたかいを広げることを意志統一し、札幌市の中心街をパレードし、市民にも訴えました。

集会では、安倍政権がめざす新自由主義に基づく政治を先駆けて具体化している橋下「維新」政治の実態とたたかいについて、全大阪生活と健康を守る会連合会の大口耕吉郎会長が特別報告しました（右写真）。



異常な生活保護行政の実態や敵対する相手（自治体職員、民主団体、生活保護利用者）を決めて、たくみなメディア戦略、ワンフレーズのイメージ化でフラストレーションを溜めこむ府民、市民が喝采するように仕向ける橋下「維新」の手法、住民いじめの内容や住民のたたかい、都構想の本当の狙いなどを報告しました。最後に、新自由主義は、貧困が見えない、見ようとしない、過去を問うことが弱点、生活保護2条のいう無差別平等、過去を問わず現在主義が大切、多くの人に事実を知らせ、運動の方法を提示し、参加型の運動の構築がカギと強調しました。

リレートークは、6分野から報告

中小業者・年金生活者・生活保護利用者・障害者・介護事業者・保育労働者の各代表から、深刻な実態とたたかいについて報告しました（発言の内容は、次回以降のニュースで紹介します）。

